

フジ住宅株式会社

取組の特徴

家族がインフルエンザ等の流行性の感染症に罹患した場合、社員の希望によって、家族の看病をしながら、自宅で働けるよう就業規則を変更。

遠方（茨城県・山口県）に在住の身障者2名が完全在宅勤務としてテレワークにて従事。そのうち1名は、パラリンピックを目指すアスリートで、競技生活と業務を可能な限り両立できるよう働きやすい環境整備やskypeを用いた密なコミュニケーションによりサポート。

営業部員は現場やお客様宅にて、設計士や建築士は現場で監督業を行いながら、モバイルPCやタブレット端末から社内へネットワークをつなぎ、テレワークできる体制を整備。

【主な効果】

- 社員からテレワーク申請があった場合の利用率100%
- 自宅等でのテレワーク実施人数110名、モバイルワーク実施人数437名

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○

企業の概要

社名	フジ住宅株式会社	都道府県	大阪府
業種	不動産業、物品賃貸業	従業員数	936人
事業概要	戸建住宅・分譲マンション・注文住宅・土地有効活用事業・中古住宅再生事業・サービス付高齢者向け住宅・賃貸管理等の事業		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則に規定
テレワーク担当部署	システム室
テレワーク対象者	全社員
実施者数	547人(延べ人数)
実施日数	月12回ほど

テレワークの導入・拡大の経緯

昨年、政府主催の「テレワーク・デイ」を契機にトライアル実施し、2018年1月に就業規則を改訂し、全社へ本格導入いたしました。今年もテレワーク・デイズに参加する等、社内での活用はますます広がってきております。

テレワークの概要・特徴

- ・ご家族の方がインフルエンザ等の流行性の感染症に罹患した場合、社員の希望によって、ご家族の看病をしながら、自宅で働けるよう就業規則を変更いたしました。
- ・当社では、地方(茨城県・山口県)にお住まいの身障者2名の方に完全在宅勤務として、テレワークにて従事いただいております。そのうち1名は、パラリンピックを目指すアスリートで、競技生活と業務を両立することは並大抵ではございませんが、可能な限り両立できるよう働きやすい環境整備はもちろん、skypeを用いて、コミュニケーションを密にとりサポートさせていただいております。
- ・営業部員は現場やお客様宅にて、設計士や建築士は現場で監督業を行いながら、モバイルPCやモバイル端末から社内へネットワークをつなぎ、テレワークできる体制を整えております。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 人財確保効果
当社の所在する大阪から遠く離れた地方に住む身障者の方2名が従事しており、テレワークを活用して距離を問題としない採用の機会も広がっております。
- ワークライフバランスのサポート
ご家族の疾病時に看病しながら、柔軟に働けるよう環境を整えました。また、今年のテレワークデイズでは、通勤時間を育児や家族との食事の時間に充てることができたという意見も多く、多様な働き方が社員のワークライフバランスを実現しております。
- ICT利活用の推進・経費削減効果
LINEworksを用いた場所を問わないリアルタイムの情報共有やマンション管理人へモバイル端末を配付する等、社外でのICT活用が浸透してきております。さらに工事完了時の報告書等は従来紙でしたが、社外からネット経由で記入・提出・承認できるシステムを構築中であり、年間約9万枚の用紙をペーパーレス化、さらに受発注自動化により、これらに係るコスト年間約1,680万円の削減を見込んでいます。
- BCP対策
会社に出勤できないときであっても、モバイルPC・タブレット端末を、合計437台貸与している対象の社員はどこでも働くことが可能な環境を整えております。